

「熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点
(海の玄関口) 形成のための基盤整備検討調査」

報告書



熱海港湾エリア賑わい創出整備計画(案)

平成 30 年 3 月

熱 海 市

目次



I.はじめに	I -1
--------------	------

II.熱海市・熱海港湾エリアの現状と課題	II -1
----------------------------	-------

II. 1 熱海の現状と課題の整理.....	II -1
1) 社会的動態	II -1
2) 観光等	II -8
3) 水産業.....	II -35
4) 市等の関連施策	II -58
5) 海の賑わいに係るニーズ等（地域意見）	II -74
6) 賑わい創出にかかる課題の整理	II -77
II. 2 港湾エリアの現状と課題の整理	II -79
1) クルーズ船の寄港状況.....	II -79
2) 既存の定期船等	II -80
3) 堤防計画	II -83
4) 港湾整備に係るニーズ（地域意見）	II -84
5) 港湾エリアの課題の整理.....	II -85
II. 3 交通・人の動線の現状と課題の整理	II -88
1) 熱海市における観光交通特性	II -88
2) 道路の渋滞状況、交通事故の発生状況.....	II -174
3) 歩行者経路の状況	II -186
4) 公共交通の利用状況.....	II -190
5) 公共駐車場の利用状況.....	II -192
6) 交通に係るニーズ等（地域意見）	II -193
7) 交通に係る課題の整理.....	II -204

III.クルーズ船受入に向けた環境整備に係る提案 ～クルーズ船受入環境整備基礎調査結果～ III-1

III. 1 クルーズ船受入環境整備に向けた基本的な考え方	III-1
III. 2 伊豆箱根地域への寄港の需要と課題	III-2
1) 寄港の事例	III-2
2) 国内外のクルーズ船社のニーズの把握.....	III-5
3) 熱海港における課題.....	III-12
III. 3 岸壁・背後エリア施設配置計画（案）	III-27
1) クルーズ船受入	III-27
2) スーパーヨット受入.....	III-33
3) 港湾エリア利用の高度化.....	III-50
4) クルーズ船受入に向けた環境整備に係る現状と課題の整理.....	III-53
5) 岸壁・背後エリアの施設配置計画（案）	III-55

IV.海辺の賑わい創出に係る提案 ～熱海港湾エリア賑わい創出検討基礎調査結果～..... IV-1

IV. 1 熱海港エリアの将来ポテンシャル（需要予測）	IV-1
1) クルーズ船受入による効果	IV-1
2) 海辺の賑わい創出	IV-2
IV. 2 人の回廊創出（交通計画）の提案	IV-10
1) 人の回廊創出（交通計画）の目標	IV-10
2) 人の回廊創出（交通計画）の取組方針.....	IV-11
3) 各取組方針における施策概要	IV-12
4) 取組方針 1 観光交通対策と観光振興の両立	IV-14
5) 取組方針 2 徒歩や公共交通で、居住者・来訪者の誰もが便利に楽しく 移動できる交通環境の実現（歩行空間の整備）	IV-23
6) 取組方針 3 クルーズ客の受入環境整備 （広域周遊と市内回遊の移動の多様性を確保）	IV-41
7) 取組方針 4 陸路と海路の連携（広域アクセスの強みを活かす）	IV-45
8) 取組方針 5 多様な主体との協働による持続可能な交通政策の推進.....	IV-46
IV. 3 海辺の賑わい創出に向けた提案	IV-47
1) 海辺の賑わい創出の目的	IV-47
2) 海辺の賑わい創出の取組方針	IV-48

3) 取組方針 1 和田浜エリアの高度利用.....	IV-49
4) 取組方針 2 水産施設の再編	IV-55
5) 取組方針 3 渚町の活性化	IV-66
6) 取組方針 4 海辺（親水公園・サンビーチ）の通年利用.....	IV-71
7) 認定・認証制度の導入.....	IV-78

IV.4 実現に向けて

1) 海辺の賑わい創出整備計画案（全体図）	IV-81
2) 事業スケジュール（優先性）	IV-82
3) 調整課題	IV-84
4) 実現方策の検討	IV-85

V. 「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」概要版

V.1 「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」概要版.....

V.2 今後の推進に向けて.....

付属資料

- 📎 付属資料 1 「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」概要版
- 📎 付属資料 2 イメージパース
- 📎 付属資料 3 地域からの意見
- 📎 付属資料 4 参考事例
- 📎 付属資料 5 モバイルマッピングシステム（MMS）による市内の現況調査

本報告書における「熱海港」の範囲について

港湾法における地方港湾としての熱海港には伊豆山地区、渚・横磯地区、多賀地区が含まれるが、本報告書における「熱海港」は、渚・横磯地区を対象とする。



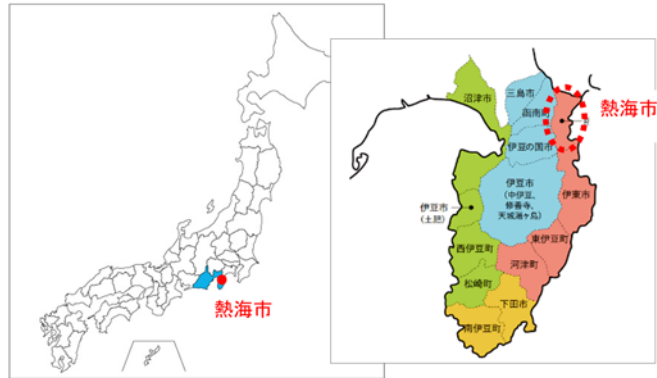
謝意

熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）の作成にあたっては、熱海港客船誘致委員会各委員のみなさまには長時間の意見交換にご参加いただき、忌憚のないご意見をうかがいました。地域の関係者のみなさまへもヒアリングをお願いし、貴重なご意見をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

I . はじめに

整備計画（案）策定の経緯

本市は、伊豆箱根地域にあり、世界文化遺産となった富士山を望み、韮山反射炉や世界認定をめざす伊豆半島ジオパークなどの魅力ある自然・文化資源を有し、近年、国内のみならず海外からの旅行者も増加している。2019年にはラグビーW杯、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの一部競技が静岡県内で開催される計画があり、旅行者増の動きの加速が期待される。



首都圏、中京・関西圏からの陸側からのアクセスは、東名高速道路・新東名高速道路や東海道新幹線があり、また伊豆箱根地域内では伊豆縦貫自動車道が整備されている。一方、海側からのアクセスは今後の拡大の余地があり、国内外でのクルーズ需要の高まりを契機に、新たな玄関口として熱海港へのクルーズ船の誘致を進めるとともに、熱海港エリアの活用を進めるための整備を行っていく。これにより陸・海からのアクセス性が高まり、本市の活性化効果のみならず伊豆箱根地域全体の活性化に資するものとなる。

本市は、「日本ナンバー1の温泉観光地」づくりを目指して、「景観計画」、「熱海市観光基本計画」、これらを受けた「熱海まちづくりビジョン」、「渚町まちづくり推進地区計画」等を策定、魅力的で、市民や観光客に愛され、人が集まる賑わいのあるまちづくりを進めてきている。熱海港についても、官民連携で観光交流の増加やクルーズ船などの受け入れの活動に取り組んでおり、並行して行っているプロモーションやPR活動が功を奏し、国内、特に首都圏からの観光客数が回復してきている。

今後、国外からの来訪者、中長期滞在者、市域居住者など従来の観光客を含む多様な人の交流により市域の賑わいが創出されることをめざし、海辺の活用を図る。賑わい創出の担い手は多くの場合民間のとりくみによるものとなるが、それがより効果的となるよう公共が担う基盤整備との両輪によって進むことをめざす。

「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」の位置づけ

「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」は、「熱海港の賑わい創出による伊豆箱根地域観光拠点（海の玄関口）形成のための基盤整備検討調査」の成果として、熱海港およびその周辺地域の将来イメージについての現時点での地域意見をもとにまとめたものであり、今後、官民連携で事業計画の検討が進められる際の基礎的な情報として整理した。熱海港客船誘致委員会をワークショップ形式で開催し、熱海港利用関係者から意見を受けた他、水産・観光業等地域の賑わい創出に関わる方々からはヒアリングにより意見を受けた。



図 I-1 「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」の位置づけ、検討の課程

熱海港湾エリアの賑わいの創出とは

熱海港湾エリアの賑わいは、港湾エリアに人が来訪し、滞留・回遊することにより創出されるものと、本計画では設定した。陸の玄関口（JR 熱海駅）から海辺や港（サンビーチ、渚町、和田浜）に人がアクセスし、あるいは、海の玄関口（熱海港）からクルーズ船等での来訪者の和田浜・渚町・サンビーチへの回遊を促す仕組みを整えることにより、熱海港およびその周辺エリアの賑わいが創出されることが期待される。

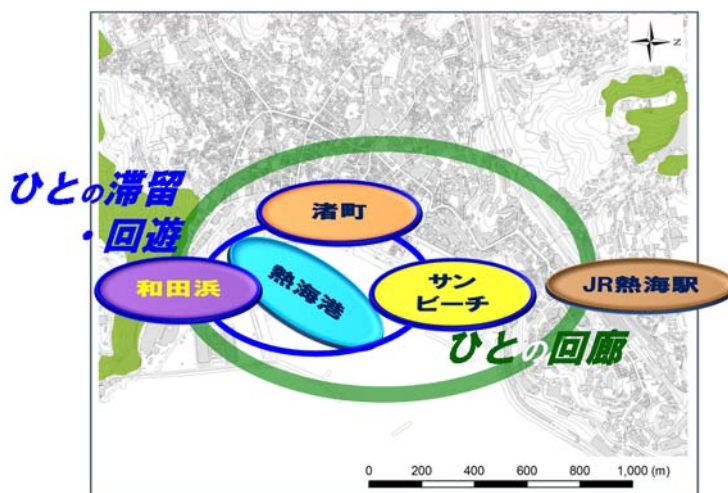


図 I-2 熱海港湾エリア賑わい創出のイメージ

「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画（案）」の構成と概要

海の玄関口(熱海港)における賑わいの創出

海の玄関口としての熱海港の賑わいの創出は、ひとつには、クルーズ船等による来訪者の増加によってなされるものとし、寄港数を増やすため、現状の課題に応じて受入環境としての必要条件を整理した。

- 港形、操船等による安全上の制約や社会的ニーズから寄港対象となる船の条件。
- 寄港地にのぞまれる施設等の整備環境。

港湾エリアの現状の利用と、将来の需要および安全な利用の観点から、熱海港湾エリアのさらなる活用について提案した。

- クルーズ船寄港時以外の期間の港湾エリアの利用向上策として、スーパーヨットの寄港地としての可能性と、必要施設。
- 現在港湾エリアで運行されている観光船や離島航路、漁船との一体的な整備。
- 安全で快適なアクセス（交通対策）、津波避難施設。

熱海港の岸壁・背後エリア施設配置計画（案）を策定。

海辺の賑わいの創出

海辺の賑わいの創出に向けた方策を提案した。

- 回廊機能として、海辺へのアクセスの利便性を高めるため、渋滞緩和・アクセスの容易性・快適性の向上策。
- 滞留効果につながるフィッシャーマンズ機能他。
- 裕福層の価値感に響く世界的認証。等

《今後の計画推進に向けて》

調整課題・進め方などに係る整理／イメージの創出

「熱海港湾エリア賑わい創出整備計画(案)」